

平成30年度

三沢市教育委員会
会 議 録

12月定例会

三沢市教育委員会 平成30年度 12月定例会

1 日 時 平成30年12月20日(木) 14時00分 開会

2 場 所 三沢市役所 別館4階 第1研修室

3 出席委員等

教 育 長	富 田 敦
委 員 (教育長職務代理者)	宮 野 楠 見
委 員	相 沢 靖 恵
委 員	立 花 肇
委 員	黒 沢 のぞみ

4 出席職員

教育部長	山 本 智香子
教育総務課 課長	高 橋 徳 孝
教育総務課 課長補佐(書記)	種 市 剛 大
教育総務課 教育総務係長	鳴 海 拓
学務課 課長	附 田 経 行
学務課 副参事兼課長補佐兼学務係長	川 井 克 子
学校教育課 課長	米内山 誠 毅
学校教育課 課長補佐	長 末 道 夫
生涯学習課 課長	遠 藤 恵 介
学校給食センター 所長	谷 坂 昭 博
学校給食センター 所長補佐兼施設係長	山 本 智

5 傍聴者 2名

6 議事日程 別紙のとおり

【別紙】

三沢市教育委員会 平成30年度 12月定例会 議事日程

第1 開会

第2 会議録署名委員の指名

第3 会期の決定

第4 前回会議録の承認

第5 報告案件

報告第11号 平成30年三沢市議会第4回定例会について

報告第12号 平成31年度教育委員会当初予算（主要事業／新規・継続）について

第6 その他

第7 閉会

開会 14時00分

○日程第1 開会

■富田教育長

出席委員は定足数に達しておりますので、委員会は成立いたします。

ただ今から、平成30年度12月定例教育委員会を開会いたします。

はじめに、去る12月13日に開催された平成30年三沢市議会第4回定例会の最終日において、立花肇委員が再任されました。

教育委員2期目となりますが、引き続き、三沢市の教育振興のため、ご尽力を賜りますよう、この場をお借りして、お願い申し上げます。

それでは、立花委員よりごあいさつをお願いいたします。

■立花委員

先日の議会において、2期目の承認をいただきました。

まだまだ力不足ではありますけども、三沢市の教育振興の為に、一生懸命頑張りたいと思いますので、どうかよろしく願いいたします。

■富田教育長

ありがとうございました。

それでは、お手元に配付してある議事日程により、会議を進めます。

○日程第2 会議録署名委員の指名

■富田教育長

会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、宮野委員と相沢委員を指名いたします。

よろしく願いいたします。

○日程第3 会期の決定

■富田教育長

会期についてお諮りいたします。

会期は、本日20日の1日でよろしいでしょうか。

(「異議なし。」と声あり)

それでは、本日の1日といたします。

○日程第4 前回会議録の承認

■富田教育長

前回会議録の承認についてお諮りいたします。

前回の会議録は、お手元に配付しております。お手元の会議録のとおり承認してよろしいでしょうか。

(「異議なし。」と声あり)

ご異議がありませんので、承認といたします。

○日程第5 報告案件

■富田教育長

報告案件に移ります。

報告第11号平成30年三沢市議会第4回定例会についてを議題といたします。

事務局より説明をお願いします。

■教育部長

平成30年第4回定例会におきまして、田嶋議員から教育行政についての3件。春日議員からは、小中学校へのエアコン設置について。西村議員からは、ICTの活用の推進についての計5件の一般質問がございましたので、その答弁内容について、概要をご報告させていただきます。

はじめに、田嶋議員の教育行政についての1点目、教育長就任から約1年になるが、今後の市の教育方針をどのように考えているのかの質問の趣旨でございます。

学習指導要領の改訂に伴い、教育長には、三沢市の教育の進むべき方向についての考えがあると思うが、少子化が進む中、教育環境の良い街に人が集まり、街の活性化にもつながると考える。住まいを検討している方々が、「子供の教育を考えると三沢市に住みたい。」と思えるようにするためにも、市の教育方針が重要になってくるのではないかと。

そこで、三沢市の教育大綱と教育施策の方針を踏まえた上での、教育長の理念と方針を伺いたい。

答弁の概要でございます。

今年度、第二次三沢市総合振興計画が始まり、教育委員会においても、「みんなが学べるまちづくり」を目指し、3つの教育方針を実現すべく、具体的な施策を実施しているところであります。

就任から1年となるところでありますが、国や県の学習状況調査の結果を見ますと、子供達の学習の定着状況が高まってきたり、学習習慣や生活習慣の改善傾向が見えたりしている一方、課題を抱えた子供たちへの早期対応や、教育環境の計画的な整備等の必要性も感じているところでもあります。

今後も、「教育は人づくり人の中で人になる」という基本理念の下、地域の教育力の結集を図るとともに、学びの基盤となる教育環境の整備等を計画的に進め、地域の独自性を出しながら、クオリティの高い教育を行い、三沢市の子供たちが、夢を育み、志を高くもち、生き生きと活躍する姿を広く内外に示し、教育の側面から、定住化はもとより、市政の発展に尽力したいという思いであり、その気概は、今後も強く持ち続けたいと考えております。

と答弁いたしております。

次に、田嶋議員の教育行政についての2点目、2020年度実施の、新学習指導要領への対応についての質問の趣旨でございます。

三沢市では、早くから英語教育推進特区として、小学校の全学年で「英語活動科」の授業を実施してきた。

全国的にも小学校からの英語教育が始まる中、2020年度からの新学習指導要領全面実施にあたり、三沢市では特区としてどのような英語教育の取組をしているのか、現状や課題を伺いたい。

答弁の概要でございます。

当市では、平成18年度より国の英語教育推進特区として、その後、平成20年度には、文部科学省指定「教育課程特例校」として、小学校1年生から、全学級で英語指導助手を活用した、「英語活動科」の授業を実施してきており、平成30年度の青森県学習状況調査では、市内中学生の英語力は、県平均を大きく上回り、高い水準を維持していることを伺い知ることができます。

今回の新学習指導要領の全面実施に当たっては、「聞く」・「話す」・「読む」・「書く」という4技能と、思考力・判断力・表現力等の育成を図ることが重視されております。

また、課題としては、小学校5・6年生において、英語の授業週1時間であったものが、週2時間に増加することになり、授業時数の確保、時数増加に伴う新しい指導計画と教材内容の整備、小中学校9年間を見通した系統性のある計画の整備等があげられます。

今後とも「教育課程特例校」として、地域の特性を生かしながら、先進地域としての優位性を維持・発展していけるよう、英語の4技能がしっかりと身につく、豊かな国際性を兼ね備えた子供たちの育成に、取り組んで参る所存でございます。

と答弁いたしております。

次に、田嶋議員の教育行政についての3点目、

三沢市の特性を生かした英語教育についての質問の趣旨でございます。

三沢市では、英語教育推進特区として、学習指導要領に位置付けられていない教育を実施してきた。

米軍三沢基地を活用したり、英語体験施設を作ったりすることにより、子供たちが英語になじみ、自由に英会話ができるようになれば三沢市にもっと人が集まってくると考える。

教育長は以前、「三沢の英語教育 Second Stage へ」について話をされていたが、2020年新学習指導要領実施にあたり、今後の三沢の英語教育への展望について伺いたい。

答弁の概要でございます。

「三沢の英語教育 Second Stage へ」では、中学校卒業時に目指す生徒の姿として、国や県が目標としている英検3級以上取得率50%に対し、当市では、今後70%を目標とし、計画的に事業を展開して参りたいと考えております。

具体的には、「児童・生徒」についてはこれまでの授業に加え、基地内の子供たちと英語を使って交流を図る小学生対象のジュニア・イングリッシュ・デイの新規実施や、中学3年生対象の実用英語検定料助成の機会拡大、市の大きなイベント等における英語体験の場面設定など、日常場面で「使える・話せる」英語教育を推進していきたいと考えております。

教職員に関しては、現在実施している講座や研修会、講演会等を継続し、今後は、自ら海外の方々に関わる場面を設定するなど、教職員の専門性や指導力向上を図っていきたいと考えており、環境・教材面については、新指導計画第5版の作成・発行、英単語2000の習得を目指した小中一貫して活用できる単語集の作成・配付、小学校での学びを中学校に発展的につなげる市独自のハンドブックの作成・配付など、9年間の小中一貫した英語教育を推進していきたいと考えております。

今後とも「三沢の英語教育 Second Stage へ」に向けて三沢市の特性や地域の教育力を活用しながら、「三沢から世界にチャレンジする子供たち」の育成を目指し、関係団体等と連携を図りながら、計画的に取り組んで参る所存でございます。

と答弁いたしております。

次に、春日議員からの市内小中学校へのエアコン設置についての質問の趣旨でございます。

今回の国の補正予算で、エアコン整備に係る準備が整っていて、予算の要求を行っている自治体もある。

この補正予算が今年度で終わると解釈しているが、教育委員会としてエアコン整備を考えるだけでなく、市全体の問題として理解してもらわないと物事は進まないと感じます。

子供たちの環境を第一優先しなければならぬと思う。

異常気象のため、暑い日が何日あろうとも教育環境を考えていく必要があると思うので、今後、エアコンを設置していく考えはあるのか伺いたい。

答弁の概要でございます。

当市の市内小中学校のエアコン設置状況につきましては、全12校のうち、3校については、全館に冷房が完備されておりますが、残り9校については、保健室には全てエアコンが設置されているものの、普通教室にはエアコンが整備されておらず、扇風機等に対応している状況であります。

今回の国の補正予算により、学校施設への冷房設備対応臨時特例交付金が創設されたところですが、本交付金を活用するにあたり、各校の調査等が必要となりましたが、事業実施に向けた準備期間が短く、今回の国の補正予算での対応を断念せざるを得ませんでした。

今後におきましては、市内各小中学校の現状を調べ、様々な課題を洗い出し、関係課と協議・連携を図りながら、計画的に教育環境の整

備に努めて参りたいと考えております。

と答弁いたしております。

次に、西村議員からのICTの活用の推進についての質問の趣旨でございます。

市内小中学校におけるICT化の推進について、取り組み状況と今後の方向性を伺う。

答弁の概要でございます。

学校教育におけるICT活用につきまして、新学習指導要領において、「情報活用能力」が「学習の基盤となる資質・能力」として位置づけられ、これらを適切に活用した学習活動の充実を図ることが明記され、文部科学省では、各地方自治体による計画的な整備を促進しているところであります。

こうした中、これまで本市では、効果的な授業が行われるようICT関連機器の整備に努めてきたところでありますが、国の整備方針に示された無線LAN環境の整備やタブレット端末等の整備には至っていないのが実情であります。

今後におきましては、現在、教育委員会事務職員及び、各小中学校教職員によるワーキンググループでの、各学校の実情に応じた効果的な整備を検討しているところであり、このワーキンググループでの検討内容を踏まえ、優先的に整備すべき機器や財源の確保等を精査した上で、子供たちの学力向上はもとより、教職員の業務負担軽減の観点からも、計画的なICT環境の充実に努めて参りたいと考えております。

と答弁いたしております。

以上、5件の一般質問の答弁内容の概要をご報告いたしました。お手元に配付してございます答弁資料をご参照していただきたいと存じます。

以上でございます。

■富田教育長

ただ今の報告に対し、委員からご質問等ありますでしょうか。

■相沢委員

田嶋議員の質問の中で、環境、教材面での充実という事で、その中で英単語2000の習得を目指した小中学校一貫して活用できる単語集の作成・配付や、市独自のハンドブックの作成・配付とあるのですが、これらの準備はどのくらい進んでいて、いつ頃配付される予定となっているのでしょうか。

■学校教育課長

単語集については、県の方で数年前に出された物がございます。

約2000という単語の数字は、新学習指導要領によると1600から1800程度という事ですが、三沢の場合は小学校時から積み重ねているという事もあり、また県の方の単語集を参考にしながら、2000程度の物を小学校の時から中学校卒業までの9年間をかけて身につけさせていこうというような事です。

元々は県の方の単語集は電子データで配付されている物ですので、子供たちの手元には配付されておりません。

従って、それに手を加えて子供たちに配付しようという事で、来年度一年間かけて完成させて出したいと考えております。

ハンドブックにつきましては、三沢市の場合小学校一年生から英語を勉強してきているわけですが、中学校に入学した時に、他の地域から来た中学校の先生方は、小学校の方ほどのくらい勉強してきていて、力がついていないか分からないために、小学校で力をつけても、中学校に入学すると他の地域と同じレベルから始まることとなります。

そうなってしまいますと、一度レベルが下がってまた上げるという事になりますので、そこをスムーズに繋がるようにという事で、小中の円滑な連携の為の教師用のハンドブックという事です。

これも出来るだけ来年度一年間のうちに完成させたいと考えております。

以上でございます。

■相沢委員

次に、ICT環境の整備についてですが、これに関してワーキンググループ会議を立ち上げているという事なのですが、そのワーキンググループは、学校の教職員と事務局職員というメンバーのようなのですが、今後どういう風に取り組んでいくかを考えた時に、それに関する専門の方の意見を聞くような事は、会議の中でのかんがえはあるのでしょうか。

■教育総務課長

現在のところは、学校におけるICTに長けた職員を学校から推薦していただいて、メンバーに加えております。

また、教育委員会におきましても、各課並びに担当の者を配置しておりますが、現段階では、第一段階として、学校の現状と学校が求めているものが具体的にどういう物なのかのヒアリングに留まっております。

国の目指すべき姿は、子供たちの教育においては、一人一台のタブレット並びに教室での無線LANを用いた学習環境。それをベースにした教育指導というような部分でございますし、また、教職員におきましては、校務負担軽減という事で、校務支援システムの導入等々の二面性を持ったICTの整備という事で考えております。

それを目標に、今後とも進めていこうという事で、これからそういう専門の方達から意見を伺いながら、中身を煮詰めていくという作業も必要になってくると思いますので、委員のおっしゃるとおり、そのような場を設けて意見を聞くという事を考えていきたいと思っております。

以上でございます。

■富田教育長

ありがとうございます。

その他、委員の皆様からありますでしょうか。

■立花委員

先程の英語教育の事に関して、国や県では英検3級以上取得率50%以上に対し、当市では70%以上を目標にするようになっておりますけれども、現状はどのような状況になっているか伺いたいと思います。

■学校教育課長

初めに、70%という目標の設定の仕方についてですが、先程の教育部長からの説明にもあったとおり、三沢市の子供たちの県の学力学習状況調査の結果等から見ますと、県の平均レベルに比べてすごく高い値が出ています。

従って、現状でも国や県が平均50%を目指すという事であれば、そのまま当てはめると60%程度達成出来る見込みですので、目標として70%を目指そうという事で設定しました。

今の段階で実際にどの程度取得している子供がいるかと言いますと、50%にも達していません。

受験をすれば取得できる力を持っている子供の中でも、受験をしていない子供も居るという事で、従って今後の英語の検定試験の受験を子供たちに積極的に働きかけて、より多くの子供たちが受験するようにしたいと考えています。

今までは、英語の検定試験を年3回のうち、学校の方である程度勉強をさせてから受けるために、1回目は抜いて、2回目で受験させようという事で2回目を補助していたのですが、1人1回という事は変わらないにしても、1回目の時にも受験の機会を与えた方が良いのではないかという事で、1回目から補助を認めようと考えておりました。

そのような取り組みを行い、受験する機会を

増やして、取得率を上げていこうと考えておりました。

以上でございます。

■立花委員

補助に関しては、個人1人に対しては1回という事で変わらないという事でよろしいのでしょうか。

■学校教育課長

はい。それに関しましては、今のところ変わりません。

■富田教育長

ありがとうございます。

その他、委員の皆様からありますでしょうか。
（「なし。」と声あり）

無いようですので、報告第11号平成30年三沢市議会第4回定例会については、終わりといたします。

■富田教育長

次に、報告第12号平成31年度教育委員会当初予算（主要事業／新規・継続）についてを議題といたします。

事務局より説明をお願いします。

■教育総務課長

それでは、お手元の資料に基づきまして、教育総務課は1番から13番となっておりますが、13番はミスプリントとなっておりますので、省略させていただきます。

現在の資料の内容ですけれども、あくまでも、現時点で財政課に要求している内容でございます、そのまま31年度の予算になるというものではございませんのでご了承下さい。

今後ヒアリング、査定等が終わりまして、来年の3月議会での承認が必要となりますが、現段階での内容という事です。

教育総務課での主要な事業といたしまして、新規5件、継続7件の12件についてを説明させていただきます。

まずは1番、こちらは三沢市の教育振興基本計画が31年度をもって終了するという事で、新たな第二次教育振興基本計画の策定が必要だという事での予算でございます。

計画期間5年をもつての計画になるとは思いますけれども、総務課で29万7千円を予算要求しているところでございます。

続きまして2番、内容は教育長室のカーペットが汚れているという事で、そちらの更新をお願いしたいという内容でございます。

金額は40万3千円を要求しております。

次に3番と4番、こちらは小学校と中学校の図書室のデータ管理用のパソコンを導入するという内容のものでございます。

現在も、学校によっては整備されているところ、またパソコンはあるけれどもソフトが古くなっているという事で、更新が必要な部分がありますので要求しております。

小学校分111万3千円、中学校分213万3千円という内容になっております。

次に、5番と6番、こちらも図書の購入に対するの予算要求でございます。

これは例年と同額の要求内容となっております。

小中学校合わせて510万円の内容となっております。

次に、7番の楽器の購入予算でございます。

31年度は、第五中学校分314万2千円の要求をしております。

こちらも計画をもって順次更新をしている事業でございます。

次に、8番、こちらは現在使用しております教職員のパソコンとなります。

こちらの方のソフトの期限やメーカー保証等も切れるという事で、更新を行うというものでございます。

これまでは買い上げという事でやっておりましたが、今後はリースという事で5年契約を結んで、単年度における予算の負担軽減を図るという目的もごございます。

1045万1千円を要求しているところでございます。

続きまして9番、中学校屋外便所の新築事業です。こちらも順次屋外トイレの整備を進めておりまして、31年度には木崎野小学校の配置設計を行います。

その設計予算について109万6千円を要求しております。

木崎野小学校につきましては、32年度に工事を行うという計画でおります。

そして、33年度には第五中学校という計画でおります。

次に10番、こちら市小中学校の暖房設備の改修事業です。経年劣化に伴うボイラーの更新事業でございまして。

31年度は、第二中学校の工事となっております。工事総額3,614万4千円を要求しております。

続きまして11番、こちらは屋内運動場の天井落下対策としての改修事業でございまして。

31年度は古間木小学校と第二中学校の工事を行う予定となっております。総額で1億7,933万6千円を予算要求しているところでございます。

最後に12番、こちらの営繕事業というのは学校の修繕費のことです。

学校によって様々な修繕箇所等々を網羅しておりますが、その合計額といたしまして、6,332万8千円を要求しております。

ご覧のとおり、31年度の当初予算の要求額と30年度当初予算についた額と比較すると、大幅な額の違いが見受けられますが、これはヒアリングの結果に基づいて、精査されカットされている内容になっておりますので、今後どのようになるか分かりませんが、教育総務課

といたしましては、このような内容で計上させていただきます。

以上でございます。

■学務課長

学務課は14番、15番、16番の3つの事業について、ご説明させていただきます。

14番、15番は特別支援教育支援員、それから学習支援員の配置についての事業でございます。

これは継続事業となっております。

特別支援教育支援員については、三沢市内の小中学校の通常学級に在籍する、特別に支援が必要な児童生徒等の学校生活を援助するために特別支援教育支援員を配置するものです。

学習支援員につきましては、三沢市内の小中学校に在籍する、児童生徒の学習効果を高めるために、学習指導を要する学習支援員を配置するものとなっております。

31年度の予算につきましては、資料に記載されておりますとおり、特別支援教育支援員は4,055万円となっております。学習支援員については615万1千円となっております。

こちらは、学校の様々な実状を考慮して特別支援教育支援員及び学習支援員の総数は変わらず、学習支援員の増員をお願いしたのですが、それは難しいという事で、様々なヒアリング等の結果、来年度は特別支援教育支援員が47名、学習支援員は6名の配置となりましたので、それに沿った形で予算要求をしております。

最後に16番、要・準要保護学用品費等援助費についてです。

こちら、継続事業でございます。

経済的理由によって、就学困難と認められる児童または生徒の保護者に対して、必要な援助を行い、教育の円滑な実施に資するものです。

来年度は、2点の変更点がございまして、まず入学前支給を実施するために、その次の年で

ある32年度分を入学前支給に関わる予算を合わせて予算要求をしております。

それに伴って、支給単価も国及び他市町村の動向を踏まえて、単価を引き上げる事によってこの予算となっております。

31年度の当初予算については、資料に記載されておりますとおり、2,499万7千円となっております。

前年度対比が、今お伝えしたような見直しを行いましたので、そのように375万3千円、増加している形となっております。

以上でございます。

■学校教育課長

学校教育課では17番から24番までご説明させていただきます。

17番の総合的学習推進事業についてです。

これは国際理解教育に係る、講師の派遣や小学校6年生を対象として、各種職業の専門家を招いた講話や体験活動を行う、ゆめ実現推進事業。

また、子供たちの様々な学習に活用する、新聞を活用した授業という事での、事業になります。

31年度の当初予算については、472万円という事で、10万4千円の減額となっております。

これにつきましては、子供たちの体験学習などに使うバス等については増額の要求をしているのですが、三沢市公会堂改修工事が終了して、今年度行いましたゆめ実現推進事業では、会場を、一般の会場を使用した際の使用料が次年度は不要になるため、減額となっております。

外国青年招致事業費についてです。

中学生の英語力向上のための外国人招致事業という事でALT2名を中学校に配置しているわけですが、また、英会話力向上や異文化理解のために、ALTを活用してイングリッシュキャンプを実施しております。

これにつきましては、当初予算が937万7千円という事で、157万円の増額となっております。

これは昨年度、ALTが途中で退職したために、1名体制でやっていたものが、来年度は2名体制になる事での人件費の増額になります。

次に、19番、英語教育推進事業についてです。

全小学生を対象に、「英語活動科」として授業を実施という事で、そのために、英語指導助手「AET」を配置しております。

また、中学生を対象にしたイングリッシュキャンプの実施や、先程も話題になりました、中学校3年生の英語検定料1回分の補助金となっております。

これは、1,106万円の当初予算の要求となっており、前年度と比較して、28万5千円の増額となっております。

増額分につきましては、ジュニア・イングリッシュ・デイの実施、英語教育指導計画、青森県版英単語集等の印刷による増額というような事となっております。

学校教育活動支援費についてです。

教師の指導力向上のため、理数教育研修講座を実施。

また、各学校の校内研修活性化のための研修主任研修講座。

陸上競技大会他の教育振興会の行事等の開催。

中体連出場や、学校保健会、幼稚園研究会等への補助金や中学校教科研修協議会や上北地方学校協議会等への負担金という事となっております。

これにつきましては、970万2千円の当初予算の要求で、前年度に比べて167万9千円の増額となっております。

主なものとしては、特色ある教育活動を推進するための校外体験学習事業の実施による増額となっております。

総合的な学習の時間等では、バス等を活用したという事で、これまでも要求をしてきたところですが、総合に限らず様々な教科などにおいても、校外に出て体験学習が必要になるというような学校からの要望等もありまして、特色ある教育活動を実施してもらうために要求しているものです。

続いて、豊かな心を育てる生徒指導活動費についてです。

中学校4校より、木崎野小学校に心の教室相談員1名の配置。スクールソーシャルワーカーの配置。三沢市いじめ防止対策審議会の報酬及び旅費というのが主なものです。

当初予算の要求は713万4千円となっていて、20万2千円の増額となっております。

これは、スマほっと標語ミニポスター、スマほっとポスター。子供たちに呼びかけて、標語コンクール等をやったものについて、印刷して各校に展示してもらおうというような事で、計画しているという事での増額となっております。

続いて、教育支援・特別支援費についてです。

小中学校の就学予定者及び進学児童生徒のうち、障害を有する者の教育措置について、調査審議するという事で行っているものです。

また、今年度から、早期からの特別支援教育理解啓発の研修会と保護者説明会の実施という事で、幼稚園や保育園の方に、指導主事を派遣して特別支援に対する理解を深めるという事業を行っています。

特別支援教育関係の教材及び検査用消耗品の購入という事で、当初予算115万7千円要求で、3万2千円の減額となっております。

これは、教育支援に使う検査機器の購入が今年度で終了したために、来年度は減額となります。

次に、指導費についてです。

これは、指導主事の資質向上のための視察研修や会議等への参加、それから、学校に対する

指導や支援、学校教育指導の方針と重点の作成・配付。児童生徒の学力把握のための諸検査の実施という事で、当初予算819万円の要求で73万1千円の減額となっております。

これは、道徳が教科化になるという事で、道徳性検査に伴う増額の要望をしているのですが、それ以上に今年度は小学校の方が、道徳の教師用指導書を購入する年度であったのですが、来年度は中学校が対象になるという事で、小学校は6学年ありますが、中学校は3学年分しかありませんので減るという事になります。

次に、教育相談室の設置費についてです。

これは、教育相談員2名及び、適応指導員3名を配置して、不登校児童生徒の相談活動等を行っているという事で、当初予算1,000万5千円の要求で、8万8千円の増額となっておりますが、これは、人件費や報酬の増額という事となっております。

以上でございます。

■生涯学習課長

生涯学習課は25番から31番までとなっております。

25番、市内遺跡発掘調査事業でございます。野口・早稲田貝塚の国史跡指定を目指した調査でございますが、これは継続事業となっております。

平成31年度は、整理作業が主なものとなるため、作業員の賃金を減額しまして、業務委託料が増額となったものでございます。

この他に、姉沼2号線及び平畑の方の発掘調査はまた別枠で継続事業としております。

26番、学校支援活動推進事業についてです。地域の特性に応じた実行可能な「地域学校協働活動」を継続的・安定的に進めていくために、地域と学校のネットワーク形成の向上や地域の主体的学習・社会参加の促進・地域コミュニティ形成、子供の自主・自律の促進を目指す事業となっております。

その内容といたしましては、コーディネーターの資質向上のためのセミナー参加費、旅費、消耗品費として増額要求を出しております。

27番、家庭教育学級運営事業についてです。地域学校協働本部事業の中の役割を強化するため、市長部局と関係団体、高校等とも連携・協働しまして、既存事業をさらに良くしていこうという事で、家庭教育支援や体験活動の場を提供していきたいという内容でございます。

増額しておりますけれども、増額した具体的な内容といたしましては、夏休み、冬休みのお助け塾の日数の増や、新規としてみさわ子供未来塾を月に1回、児童館・集会所を活用して個別学習支援を行うための奉仕謝金として増額要求いたしております。

それから、食育に関する講師謝金であるとか、新規で自然体験学習講座は春夏秋冬の年4回を通して三沢市の四季にあった野外体験を行うための講師謝金と、この中に記載されておられません、ソフト事業として、家庭教育学級運営事業の中に含まれているものがございます。

これが増額要求の内容となっております。

28番、図書館事業です。

これは指定管理料が主なものとなりますが、増額となっておりますのは、非常用発電蓄電池の交換などの修繕費が増額理由となっております。

そして、29番公民館事業となっております。

今年度は、改修工事のため、休館となっておりますが、31年度からまた再開をいたします。

予算の主なものは、指定管理料となっております。指定管理者に様々な支援をお願いするという事になっております。

指定管理が再開いたしましても今年、生涯学習課で行っている事業を継続して、公会堂の指定管理者と共に、連携しながら進めていきたいと考えております。

次に30番、淋代団体活動センター、谷地頭団体活動センターブロック塀撤去工事についてです。

建築住宅課から改善を要すると指摘されましたブロック塀を撤去するための工事費として、要求いたしております。

淋代は242万円、谷地頭の方は19万2千円となり、計261万2千円となっております。

31番は、文化財パトロール車の購入費となります。

発掘作業等にも使用する車両が12年経過し、12万キロ走行しており、古くなってきておりますので、軽貨物車の購入費として予算要求いたしております。

生涯学習課は以上でございます。

■学校給食センター所長

学校給食センターの予算要求概要についてご説明いたします。

32番、学校給食センター運営費についてです。

学校給食は学校給食法に基づき、実施しておりますが、来年度の給食実施予定日数は202日、予定食数はPTA等による体験給食等を含めまして、年間延べ68万3266食といたしまして積算しております。

その結果、予算総額は3億3,498万6千円となり、前年度と比較いたしまして、309万6千円の減額となっております。

この減額の要因としましては、児童生徒数の減少に伴う材料費等の減少が主なものとなっております。

以上でございます。

■富田教育長

ただ今の報告に対し、委員からご質問等ありますでしょうか。

(「なし。」と声あり)

無いようですので、報告第12号平成31年

度教育委員会当初予算(主要事業/新規・継続)については、終わりいたします。

○日程第6 その他

■富田教育長

その他に移ります。

各課で委員にお知らせする事項等ございませんでしょうか。

■学校教育課長

平成31年度の全国学力学習状況調査の中学校英語話すこと調査の対応についてです。

これは、平成31年度の全国学力学習状況調査にあたっては、中学校の英語の調査が初めて実施されることとなります。

今までは、通常国語と算数・数学であり、数年に一度理科を実施してきたところでありますが、英語は初めて実施されます。

その際、通常の入試などでは、英語の聞き取り検査が行われるのですが、今回の調査では聞き取り検査だけではなく、話す力を調査する為に、子供たちの音声を、マイクを用いてパソコンに入力し、USBにデータを保存する方法で実施します。

各市町村でその調査を実施出来るかどうか、またその検査を実施するかどうかについて、報告するようにと文部科学省からの依頼がありました。

そこで、教育総務課の方にも協力をお願いして、各学校に設置されている生徒用パソコンが、その機能を使える状況になっているのかどうかの調査をしてもらったのですが、その結果、実施可能だという事で、来年度は実施する方向で進めたいと考えております。

今後は、来年度の実施に向けて、学校教育課と教育総務課で協力をして、学校と連携をして必要に応じた整備等を進めていきたいと考え

ておりました。

以上でございます。

■富田教育長

ありがとうございます。

ただいまの報告について、何かご質問・確認等はございますでしょうか。

(「なし。」と声あり)

無いようですので、その他、各課でお知らせする事項等ありますか。

■生涯学習課長

生涯学習課からは2点ございます。

まず、平成31年三沢市成人式についてです。

日時は、平成31年1月13日日曜日となっております。

12時15分からオープニング映像上映という事で、これは15分となっておりますが、約20分間流れる予定になっております。

その後、夢コーチング講演という事で、今回は津村さんという方の映像と講演を予定しております。

そして、13時から式典が開始されまして、式典は例年とおりでありますが、会場が例年と異なりまして、上手くいくかどうかのリハーサルをしっかりとやらないといけないと思っております。

14時からたちの集いという事で、成人式の会場はメインアリーナですが、こちらはサブアリーナで行う事としています。

今日も、食事を提供して下さる方々と打合せの最中でしたが、14時から15時頃まで行いたいと思っております。

今回の記念品は、レトルトのピカカレーとまっしぐらのペットボトルのお米2本のセットを予定しております。

次に、1月14日に三沢市民俗芸能公演会がございまして、三沢市国際交流教育センターのホールで行います。

現在のところ、10団体が出演予定となっております。

以上でございます。

■富田教育長

ありがとうございます。

ただいまの報告について、何かご質問・確認等はございますでしょうか。

(「なし。」と声あり)

それでは、無いようですので、その他、各課でお知らせする事項等ありますか。

(「なし。」と声あり)

それでは、無いようですので、最後に各委員の皆様からございますでしょうか。

■黒沢委員

予算の中でもお話がありましたけれども、幼稚園や保育園に対しての特別支援の啓発活動という事で、香賀先生が各園をまわられていると思いますが、その進捗状況や保護者の反応等の声があれば教えていただきたいと思いました。

■学校教育課長

今年、教育長の熱い思い等もありまして、特別支援員の対応の為には、早期の小学校に上がる前の段階から取り組まなければいけないという事で、保護者に正しい知識等を持っていたくという事もありまして、計画いたしました。

当初、中々計画とおりに進まない面があったのですが、香賀指導主事が各幼稚園、保護者等に何とか日にちを調整していただきたいという事でお話しをしたところ、幼稚園の方は全て行くという事で、保育所の方も同様に調整をしています。

今後も、土曜日や日曜日に行く予定が3つ程入っておりますので、一年目としてはかなりの成果が上がったのかなと思っています。

来年度もまた、パンフレットと言いますか、

リーフレットのような物も、リニューアルをして出来ればと考えておりました。

以上でございます。

■富田教育長

ありがとうございます。

その他、委員の皆様からありますでしょうか。

■宮野委員

予算の事で言うと、まだもちろん決定ではないので、あまりいい加減な事は言えないのですが、私達も教育に携わっている者として、子供たちの未来につながる予算というのに力を入れなければならないとっていて、私たちの力不足もあるのですが、予算があまり多くないなという印象なのですが、限られた予算の中で、皆さんには頑張っていたきたいと思えます。

日曜日に、小川原湖民俗博物館旧蔵資料展の展示があって、寒いところ本当に皆さんご苦勞様だったと思います。

予算がない中で苦勞して頑張っているという事で、教育やいろんな事になんとか予算をつけて活動してもらいたいというような事で頑張っていたきたいと思えます。

次に、成人式のお話がありまして、オープニング映像というのは去年と同じような形をやるのかなと思いますが、去年のものがすごく良いなという事で、自分たちの入学式の時などのいろんな映像が出ると皆注目して、とてもいい感じの成人式のスタートが切れていたのが良かったなという感じがしておりました。

公会堂も含めて、工事の関係があって、いろんな行事が他でやらざるを得なかったという事で、大変なところをなんとかもう一息のところまで来ておりますので本当にご苦勞様でしたという事をお話ししておきたいと思えます。

以上です。

■富田教育長

ありがとうございます。

その他、委員の皆様からありますでしょうか。

○日程第7 閉会

■富田教育長

それでは、無いようですので、以上で日程は
全て終了いたしました。

これを持ちまして、12月定例教育委員会を
閉会いたします。

閉会 15時10分

■会議録署名者

教育委員 宮野楠見

教育委員 相沢靖恵

書記 種市剛大

